

行動する環境アドバイザーの会報

# グリーンニュース 第55号



花咲湿原のコバイケイソウ

武尊山のふもと片品村にある花咲湿原は尾瀬ヶ原と比べれば小規模ですが美しい所です。

これはコバイケイソウの大群落、年により花の付き方に当たり外れがあるとか。

山菜として人気のあるウルイ（ギボウシ）と間違えて食べ食中毒になったという記事がときおり新聞に載りますが、葉脈を観察すればその違いが解ります。

- P1 表紙
- P2 環境政策課より、
- P3 須永代表より、
- P4 温・エネ部会、ごみ部会より
- P5 自然環境部会、広報委員会より
- P6 富岡地区会より
- P7 沼田・利根地区会より
- P8 前橋地区より

発行年月日 平成25年6月25日  
発行責任者 群馬県環境アドバイザー連絡協議会  
代表 須永 徹

前年度(第 8 期)の県環境アドバイザーは 327 名の登録をして頂いておりました。第 9 期(登録期間:平成 24 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)への更新登録者は 203 名でした、今期の新規登録者を含め平成 25 年 6 月 20 日現在 260 名です。 前期同様、各地で活躍されています。

※ サポセンブログ <http://saposen.kazelog.jp/> から  
カラー版のグリーンニュースがご覧になれます。  
Web ページからダウンロード出来ます。

サポセンブログを携帯、スマホで見よう  
スマートフォンの設定で、グリーンニュー  
スも読めるよ



## 始めてみませんか? 『こどもエコクラブ』

環境政策課 松村 賢一

今回はアドバイザーの皆さんに『こどもエコクラブ』のことをお話したいと思います。こどもエコクラブとは、公益財団法人日本環境協会(平成 22 年度までは環境省)が運営する子どものための環境活動クラブです。クラブというと設置条件や活動内容など敷居の高いイメージですが、子ども(メンバー)と活動を支援する大人(サポーター)がいれば、誰でもクラブを始めることができます。

クラブを始めた後は、子どもたちと自主的な環境活動をしていただくものです。活動の内容は、身近な地域の清掃活動などに参加したり、年間の予定を立てて本格的にやるなど様々です。メンバー構成は、お子さんやお孫さんなどと一緒にやる家族単位から学校単位まで様々です。現在活動している地域の子どもを含めた集まりがあれば、それをあらためてクラブと位置づけ登録する方法もあります。

こどもエコクラブ全国事務局ホームページ(<http://www.j-ecoclub.jp/>)では、全国のたくさんのクラブが個性的な環境活動を展開し、報告しているので大変参考になります。現在、環境アドバイザーの中にもエコクラブ代表者になって精力的に活動されている方もいます。群馬県環境政策課では、隔月での通信(サポーターズニュース)の発行などの情報提供に加え、夏の学習会、冬の交流会などのイベントを開催し、各地域のクラブの活動をサポートします。

エコクラブの登録は、上記エコクラブ全国事務局ホームページから様式をダウンロードして記入し、全国事務局か群馬県環境サポートセンター、または一部市町村に設置された事務局あてに FAX してください。登録に費用はかかりません。こどもエコクラブで、環境を守る活動と気持ちを次世代の子どもたちに伝えていきましょう。新クラブの登録をお待ちしております。

### こどもエコクラブに関する詳しいお問い合わせや情報は…

群馬県環境サポートセンター TEL 027-226-2827

FAX 027-243-7702

群馬県こどもエコクラブホームページ <http://www.pref.gunma.jp/04/e0110035.html>

こどもエコクラブ全国事務局(公益財団法人 日本環境協会)

TEL 03-5643-6251

## 環境アドバイザーとして

群馬県環境アドバイザーが発足し、20年という歳月が過ぎました。このように県内各地からの参加者による組織と活動は、全国的にも事例としてはないものらしく、群馬県独自のものとして誇れるものであります。

しかし20年という月日は、会員の高齢化もまた進んでおり、制度そのものも疲労して来ていることも事実であります。この数年来の活動状況を考えますと、いずれ自然消滅することも危惧せずにはられません。

県民や県内事業者への環境意識を探るアンケート（平成10年度）の回答を見る限りでは、自分たちの生活に直結する節電やゴミの分別に対する関心はあるものの、地球温暖化防止につながる自動車の使用を控える事や（これは県内交通インフラの低さも影響しているとは思いますが・・・）、生物多様性、緑化など自分以外との関わりにつながる問題についての関心は低いようです。

私達環境アドバイザーの活動は、このあたりを追求・検討・提案していくことも重要なのではないかと思います。

そのため県の環境各部門との連携を更に図り、県としてどのような施策を遂行していくのかを理解し、時にはこちらからも働きかけることにより円滑に協働できる形を構築していく必要があるのではないのでしょうか。



今回、アドバイザー全体の研修会ということで、今まであまり接する機会がなかった環境部門の皆様からのお話を伺うことができました。環境アドバイザーとしてのそれぞれの活動として、これらの部門の皆様と、今まで以上にコミュニケーションを図り、県民の環境意識向上につながればと思います。

また冒頭に記しましたが、環境アドバイザーの若く新しい人材確保も急務です。仕事や学業がある方にとって日常の活動参加はなかなか難しいこともあるかとは思いますが、どうぞ皆様の知人などで仲間として加えたい方をお誘い願えればと存じます。

(代表 須永 徹)

## 「今我々で、できることからやって行こう」

つい先日、アメリカのオクラホマ州で直径が 1 km とも 3 km ともいわれる「巨大竜巻」が発生し、膨大な被害をもたらしました。日本でもここ近年、「ゲリラ豪雨」と呼ばれる極端な集中豪雨が頻発していますし、あまり聞かなかった竜巻発生ニュースも多く耳にします。

体感として明らかに 40~50 年前と気候が変わってきたような気がします。

【半世紀以上の歴史を持つ米ハワイ・マウナロア観測所での大気中の二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 濃度が初めて 400 p p m (0.04%) を超えた。観測所を運営する米海洋大気局 (NOAA) が 10 日、明らかにした。】

日本は 2020 年に 1990 年比で CO<sub>2</sub> 排出量 25%削減・・・という目標を撤回しました。

また気候変動と CO<sub>2</sub> は関係ないという人もいます。

しかし、確実に二酸化炭素は増え続けています。

あとで「やっぱり・・・」なんて言った時には手遅れで巻き戻せないのが地球環境なのではないでしょうか。

温暖化エネルギー部会では今年度から「今我々で、できることをやって行こう！」という「行動」へとシフトしました。

年間会合予定も組みました。原則的に偶数月の第 4 土曜日です。一人でも多くの方の参加をお待ちしています。

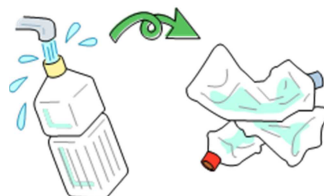
(温暖化・エネルギー部会長 田口 勇夫)

## 飲み終わった飲料缶はごみなのか

近くのごみステーションに、資源物の分別に行ってきた。高崎市では燃やせないごみの収集日に、資源物を分別して出すようになっている。大別すると燃やせないごみと資源物に分かれ、うち資源物は古紙、ペットボトル、飲料缶、びん類、乾電池・ライター、蛍光灯の六種に分かれている。

中でも飲料缶の分別には、手を焼いている。言うまでもなく缶詰・粉ミルク缶・菓子缶・油缶は、缶ではあるが飲料缶ではない。飲料缶だけを簡単に水洗いして、ごみ袋に入れて、ごみステーションに出す。これだけで飲料缶は、資源物としてリサイクルされる。この場合アルミ缶と鉄缶を分別する必要もない。(但し、有価物集団回収の時は分別する)しかし、そう簡単にはいかない現状がある。飲料缶と言う意味が分からないのか、それとも分かっているが面倒くさいので分別しないのか。①燃えないごみの中に飲料缶が混ざっている②飲料缶と一緒に缶詰の缶などが混ざっている③飲料缶の中にタバコの吸殻が詰まっている④中身がそのまま入っているなど少しも珍しいことではなく、毎回必ずある。放置すると、これらの大部分は燃えないごみとして収集され埋め立てられることになる。

ごみステーションで分別されるかどうか、飲料缶が、資源となるかごみとして埋め立てられるかの運命の分かれ道となっている。果たして飲料缶はごみなのか、本当に資源物なのか、それが問題だ。



(ごみ部会長 山田 一朗)

## 縁は異なるもの味なもの

平成 25 年度最初の部活動・高山村作業に参加して

顧みますとこの自然環境の美しい高山村にご縁が出来ましたのは、6 年前平成 19 年 10 月、小寺知事さんの時代、県の幹部で活躍されておられた大木伸一郎氏が高山村の畑を私達環境アドバイザーに「菜の花畑はどう」とのお話をいただきました。これがきっかけとなり仲間 20 名が高山村におじゃましたのが縁の始まりでした。

翌年 7 月の真夏日、肥えた黒土に私達の身長を越えた 2m 以上の菜の花畑、ウアーとため息の出る大豊作、そしてその翌年の不作、何と調べましたら連作障害とのこと。不勉強の環境アドバイザーは今後は勉強します。



今回は私達 13 名参加し、地元殖産組合の方 7 名の組合役員の中に大木氏がおられるのではないですか。！感動！ 今後も皆さんとご一緒に高山村のお手伝いが出来ればと皆で確認しました。

(自然環境部会長 宮崎亮二)

## 日本人のキレイと環境

最近、日本におけるキレイについて疑問をもつことがあります。キレイには、衛生的、美しい等、様々な意味があり、その基準は個人で異なります。例えば、衛生的のキレイについて…、近年、除菌・殺菌の関連商品がたくさん販売され、アルコール消毒を設置する施設も増えました。集団感染するインフルエンザやノロウイルスなどには予防が必要であり、免疫の弱い方には衛生的であることは重要です。ですが、ここまで徹底した除菌・殺菌は、やり過ぎではないかと感じています。



恥ずかしながら我が家では、バスタオルの洗濯は 2 日に 1 回、掃除機は週に 1 回、子供は裸足で庭に出て土をほじり、更に手を洗わずおやつを口にしています。以前は、衛生的を徹底していましたが、ある人に「自分は自分だけでなく、いろんな菌も体に住んでいて、それも含めて自分なんだよ」と言われたことがありました。また、極度の衛生的環境がアレルギーの増加に関係するという話も聞いたことがあり、それから我が家は、程々のキレイへと改めたのです。

日本人は物事を深く『追求』する特性があり、それが日本の素晴らしい文化や高い技術を生み出しました。しかし『追求』を越えた『やり過ぎ』は日本人の欠点にもなるのではないかと思います。衛生的キレイには、エネルギーや水、化学物質、お金(税金)も使用します。程々のキレイが環境への負荷も少なくするのではないかなと考えています。

他に過剰包装…、日本人の包む文化である一方、『やり過ぎ』の美的キレイの一例ではないでしょうか。

(広報委員会 梅山さやか)

## 富岡地区会の活動状況

富岡市・甘楽町地域の登録会員は24年度現在8名にて、会員の皆様が各々何らかの仕事を持ちその中にて活動をしています。会合は隔月に開いて、会員相互の情報交換及び活動方針を協議して取り組んでいます。

地域住民の環境意識の向上を図る活動が主体となっています。

### 24年度の活動の主な物は

#### 1 地域環境学習講座の開催（3回）

- ・再生可能エネルギー・水力発電所での研修。
- ・身近な放射線について(東電福島原発事故に伴って)
- ・ゴミの減量化作戦(群馬県が全国でワースト3位の対策)



(ごみの減量化について)



(再生可能エネルギーについて)

#### 2 動く環境教室

富岡市高田小学校にて4～6年生に実施。「水・温暖化」



下仁田中学校にて1～3年生までを学年ごとに3日間にて実施。「水・大気」  
(環境学習サポーターの他にアドバイザー会員が補助して行う)

#### 3 勉強会の実施

新しい会員が多くなりましたので、一時中断していた環境関連の勉強会を実施。講師は会員が得意の分野を受け持ち、外部よりの講師を依頼したことも。

#### 4 地球温暖化防止活動ぐんま県民会議社員のアドバイザーの活動

地球温暖化防止ぐんま県民会議 吉澤理事の依頼にて、富岡市高齢介護課の「いきいき健康教室」に「家庭の節電・省エネ」の出前講座を市内数カ所の集会場にて実施。

(富岡地区会 吉田 孝)

## 豊かな生活

私が住んでいる昭和村は、日本一美しいと言われる河岸段丘に位置しています。その台地には、生産量日本一を誇るこんにゃく畑やレタス畑があり、雪溶けの初春には谷川岳を遠くにのぞみ、北海道のようです。

私が嫁ぐ二十年前までは主人の父が元気で、こんにゃく栽培や野菜栽培を大きくやっていた専業農家でした。主人は学校に行く前に朝早くから野菜採り等の手伝いをしてから行っていたとのこと。

主にこんにゃく栽培をしていたのですが、こんにゃくは大変病気に弱く農薬散布がかかせません。芽が出る前から土壌消毒をしないと育たないそうです。長年当たり前のように農薬を使い、こんにゃく栽培をしてきた主人の父は、最後は肺がんになり六十四才でなくなりました。

そんな父親の姿を見てきた主人は、五年ほど前から無農薬で試行錯誤しながら野菜作りをしています。子供が三人いるので、安全な物を食べさせたいということもありますが、何より自然の中で太陽と風を感じ自然と一体になってする仕事に、生きている実感を味わっているようです。

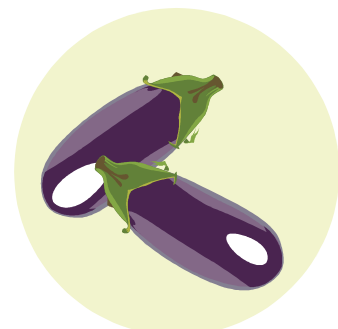
住んでいる土地にある菌で肥料を作り、その地域に合った野菜を育て旬の物を食べる、何十年か前まで当たり前のようにしてきた生活が心豊かに送れる生活のような気がします。

日本は急激に都市化が進み、畑を持つことは難しくなりましたが、食べ物もエネルギーも我家の分は自宅でもかなえるようになれば、それにこした事はありません。二年前に起きた大震災の時に、うろたえず構えていられたのは農家の方だったと思います。

我家も畑があり薪もあったので、電気・ガスが止まった時は外で薪を燃せばいいと思っていました。生きていく上で必要なのは、空気・エネルギー・食物というのを実感させられた体験でした。

震災を経験し、豊かな生活と言うのはぜいたくをする事ではなく、家族がいて普通の生活が普通に送れることが豊かな心になり、豊かな生活につながる事なのだと学びました。

(沼田地区会 堤 恵理子)



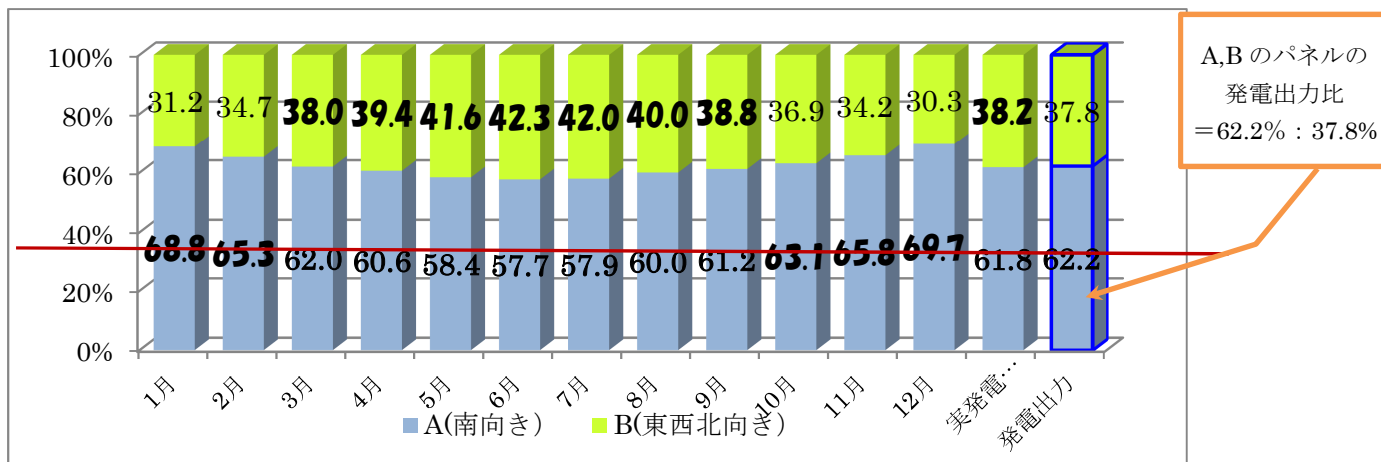
### 太陽光発電ことはじめ 3

#### 「発電パネル設置は南向きでなければ」と言われるが・・・

太陽光発電をすすめる時、金額面のほかによく聞く問題として、自宅の屋根が南面向きでないことを挙げる方が少なくない。メーカーのカタログでも、南面設置出力 100%に対して、東西では 75%、北面に対しては南面の半分程度しか、発電量が望めないような説明が見受けられる。

前橋市で実際にどんな結果になっているのか、具体的なデータを今までに見聞する機会を持ってないでいる。そこで、拙宅の実験データによって、解析を試みた。

我が家では、普及初期にパネルを設置したあと、数年後増設を考えたが、その分は東西と北面しか余地がなかった。そこで思い切って設置に踏み切ったのだった。初期設置分（南向き：A）と、増設分（東西北向き：B）を別回路としたので、容易に比較が出来る配線とした。室内のモニターも 2 個となった。平成 24 年の結果が下記の表である。



#### ◇考察

パネルの発電出力比は、南向き：A の 62.2%に対し、東西北向き：B が 37.8%だが、実際の発電比は、A が 61.8%、B が 38.2%で、東西北向きの方が高い数値となっている。しかし、大雑把に観るとその差はごく小さい。

実際の発電比が、Aのパネルの発電比：61.8%以上の月は、10・11・12・1・2の5か月。他方、Bが38.2%以上は3～9月の7か月だった。このことは発電量に対して、夏場はAよりBの方が、効率の良いことを示している。

結論として「B」（南向き以外でも）でも季節によって、十分効率よく発電し得る事が理解出来た。

#### ◇基礎情報 住居環境：前橋市最南端の平地で太陽光を遮るものなし

項目	既設（母屋）	増築部分
1. 屋根の向き	切妻 南北 葺き下ろし一面	切妻 東西北向き三面
2. パネルの向き	南向き 28枚	東向き：2枚, 西向き：6枚 北向き：8枚
3. パネルの設置角度	概ね 12°	三面とも概ね 12°
4. 出力	4.284kw	2.608kw
5. モジュールメーカー	S社	S社
6. 設置時期	H19年12月	H22年12月

(温暖化・エネルギー一部会 前橋市 松井 祐司)